

◎2019年度下期 公益財団法人サイサン環境保全基金
◆応募対象：埼玉県において非営利・民間の団体または個人が行う環境保全活動
◆助成金額：助成対象経費に関し、上限250万円
◆締切：2019年8月15日(木)
◆問い合わせ：〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-11-5KSビル 公益財団法人サイサン環境保全基金
TEL:048-643-1192 FAX:048-643-1284
e-mail:saisan@d8.dion.ne.jp

◎2019年度地域振興助成(公益財団法人 前川報恩会)
◆応募対象：多世代が参与し、高齢層から若年層への伝承が含まれる天然資源及び文化的資産の保全・活用を通じ、当該地域のコミュニティの発展に寄与する継続的事業
◆助成金額：500万円(1件あたり50万円～限度額100万円)
◆締切：Web申請のみ。(前川報恩会でキーワード検索の上、同ホームページへ)2019年8月1日(木)～31日(土)17時までに登録完了
◆問い合わせ：〒135-0046 東京都江東区牡丹3-10-7
TEL:03-3642-1566 FAX:03-3643-7094 (公財)前川報恩会

市民活動センターへの登録継続申請忘れていませんか？

- 今年度の登録継続がまだの団体または個人の方は、毎年度更新していただく必要がありますので、お早めに継続申請をさせていただきますようお願いいたします。
- センターの登録団体になると、市民活動に有効活用していただくための、予約なしで無料使用できる部屋やパソコン、紙折り機、格安印刷機などの各施設・設備・機器をご利用いただけます。

あなたも協働のひろばで

▼市民活動
カフェ



情報交換、
交流を！

協働のひろばとは、市民活動をされている方々が集まり、共に講座や視察などの事業を実施していくものです。毎月1回運営会議を開催しており、平成28年度からは小学生用まちづくり副読本の作成にも取り組んでいます。また、相互の情報交換・協力や市民活動カフェ(お茶を飲みながらまちづくりや市民活動について自由におしゃべり)も行っており、草加市の市民活動をさらに盛り上げていこうと頑張っています。
参加には協力員の登録(無料)が必要となります。

▼先進地視察(国立市)



協働のひろば講座レポート

～東大の博士がやさしくお話しします～『住みなれた家でくらしつづけ自分らしく老いるために』と題して、市民活動センター協働のひろば講座を開催しました。

東京大学特任講師 後藤 純 氏を講師にお招きし、千葉県柏市にある豊四季台団地の事例から、都市部の高齢化に対応した長寿社会のまちづくりのあり方を学びました。30名の定員が申込受付初日に定員に達してしまっただほどの盛況ぶりでした。

重くなりがちなテーマでも楽しく聞けるお話しぶりで、笑いも出る雰囲気でした。

参加者の感想としては「高齢者の多い団体にもケアが必要であるという話に共感できた」「在宅医療、地域福祉と社会福祉の違い、市民活動の関わりについて専門的な見地から良く分かった」などの声が寄せられました。

★今年の10月には、協働のひろば協力員による現地の視察を予定しています。



第41号

令和元年 7月15日 発行

市民活動センター通信

発行元：草加市市民活動センター 草加市谷塚町752番地 TEL 048-920-3580 FAX 048-925-1872
Eメール simin-katudo@city.soka.saitama.jp

作業がラクになる！
ツールやアプリの紹介！

事務局運営大作戦

まちづくりの活動や運営を楽しんで継続するために
「事務局やメンバー、会員の情報共有」「会計や労務などの事務作業」「まちづくりやイベントなど情報発信」など、まちづくり団体の事務局はやらなければならぬ作業がたくさん！みなさんはどうやっていますか？
事務局作業がもっとラクになる、無料や安価のWEBサービスを紹介します。

7/18木 午後6時から 午後8時30分まで
会場：市民活動センター

講師 生越 康治氏
(特定非営利活動法人 ハンズオン埼玉 副代表理事/NPOくまがや理事/草加市ふるさとまちづくり応援基金運営委員)
2008年から草加市の市民活動支援活動スタッフとしてNPO運営に関する講座や調査を企画担当。2017年からは草加市市民活動センターを指定管理運営するNPOくまがやの理事として非営利組織の基盤づくりの応援に携わっている。また、ハンズオン埼玉など市民活動関係の運営にかかわる。

定員 30名(先着順)
申込方法 7月8日(月)から電話またはファクス、Eメールで市民活動センターへ。(詳しくは裏面をご覧ください。)

【主催】 草加市市民活動センター

「事務局運営大作戦

作業がラクになる！

ツールやアプリの紹介！

～まちづくりの活動や運営を
楽しんで継続するために～

まちづくり
講座

参加
無料

「情報共有」「事務局作業」「情報発信」など、まちづくり団体の事務局はやらなければならないことがたくさんあって、大変ですね。この講座では、県内各地で市民活動支援に従事されている生越氏が、便利なツールや手法を紹介し、みなさんの事務局仕事を楽にします。

日時 2019年7月18日(木) 午後6時から8時30分まで

会場 草加市市民活動センター (草加市谷塚町752番地)

定員 30名

講師 生越 康治 氏(特定非営利活動法人 ハンズオン埼玉 副代表理事/NPOくまがや理事/草加市ふるさとまちづくり応援基金運営委員)

受付 窓口、電話、ファクス、Eメールで市民活動センターへ。

1階の市民活動センター、2階の谷塚児童センター、3階の青少年交流センターが合同で世代間の輪を広げる、交流サマーフェスティバルを開催します。
内容：市民活動カフェ、ダンスパフォーマンス、ミニ茶会(茶道)、パリポリくんとすいか割り、ものづくり体験、幼児・小学生あそびと工作、プラネタリウム、バザー、模擬店 ほか

第13回 交流サマーフェスティバル
谷塚児童センター 青少年交流センター 市民活動センター
2019年7月27日(土) 10時～15時 無料

★一部有料のコーナーもあります

★駐車場もイベント会場となるため、お車での来場はご遠慮ください。(自転車は可)

★雨天時は内容を一部変更しての開催となります

第13回 交流サマーフェスティバル

青少年交流センター 谷塚児童センター 市民活動センター

2019 7.27 10:00～15:00

パリポリくんとすいか割り
ものづくり体験
プラネタリウム
子どもあそびと工作
バザー・模擬店 ほか

交流サマーフェスティバル
世代間交流の輪を広げよう！

※駐車場もイベント会場となるため、車での来場はご遠慮ください。雨天時は内容を一部変更しての開催となります。

【問合せ】 市民活動センター
〒340-0001 草加市谷塚町752番地
TEL 048-920-3580 / FAX 048-925-1872
Email: simin-katudo@city.soka.saitama.jp

決定
しました!

令和元年度

ふるさとまちづくり応援基金助成団体

紹介
します



▲公開審査会当日の様子

◆今年度に草加市ふるさとまちづくり応援基金を活用してまちづくり活動を行う団体を紹介します。

去る6月1日の公開審査会において、事業プレゼンテーションを経て、つぎの8団体が助成決定されました。市民活動センターでは、団体の活動に対し、今後もさまざまな支援を行ってまいります。

※審査会当日の発表順に紹介しています。

はじめ
よう部門



ママ防災

草加のママたちに、災害時に我が子を守る術を身に付けてもらい、地域の防災力を高めるために活動しています。氷川児童センターを中心に、年に数回の防災講習会を開催。児童心肺蘇生法、避難所体験、ママ用防災バッグの中身公開などのメニューを企画しています。いざという時役立つグッズをシリーズ配布し、その使い方を教えます。

●応援基金活用：会場費、消耗品費、印刷製本費 等

まつぼっくりの会

身近な差別や偏見が、子どもたちの可能性を奪っていることに注目。子どもたちに週2回の学習の場を定期的に提供し、音楽体験を通じた交流の場を毎月開催します。将来を自ら切り開いていく機会を子どもたちに贈ります。

さらに障がい者との共生を考える講演会を開催し、差別のない、誰もが平等な社会の実現を目指します。

●応援基金活用：会場費、消耗品費、印刷製本費、謝礼費 等



認知症サポーター草加 柿とロバの会

認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

毎月の勉強会等を通して、認知症の現状について学ぶと共に、認知症サポーター及び参加者との情報交換会や認知症に関する講座を実施し、「学ぶ」「広める」「伝える」活動を推進します。

●応援基金活用：図書・資料購入費、備品購入費、印刷製本費 等



草加市LGBT+カフェ

従来の男性・女性枠にあてはまらない方（LGBT）の交流の場をつくり、啓発に取り組むことで、LGBTのサポートを行うとともに、お互いを尊重し認め合えるような草加をつくりたい。

当事者・関係者の相談交流の場「LGBTカフェ」毎月開催。LGBTセミナーの開催（年3回予定）。市内イベントへブース出店。

●応援基金活用：会場費、印刷製本費、謝礼費、図書・資料購入費 等



そだて
よう部門

NPO法人ワークスコレティブひまわり「ひまわり健康ウォーキング教室」

歩きを通して、中高年の健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりを行っています。

特に、歩行に不安のある方も楽しめる「ポールウォーキング」に注目。その第一人者とウォーキング療法士による講演・実施指導会を開催し、普及啓発を図ります。さらに、毎月「まつばら綾瀬川公園」等でポールウォーキング教室を実施します。

●応援基金活用：謝礼費、会場費、備品購入費、印刷製本費 等



T-Project ティープロジェクト

木のおもちゃに囲まれた、おもちゃミュージアムをつくりたい。木のおもちゃのもつ温かみに触れながら、世代を超えて思い切り遊べ、ママたちが気軽に相談できる場をつくりたい。

「シェアアトリエ つなぐば」を拠点に毎週のおもちゃのひろば、自宅マンションでは毎月の子育てサロンを実施します。

●応援基金活用：謝礼費、消耗品費、印刷製本費、備品購入費、会場費、賃借料 等



「地域で子どもを育てよう!」を合言葉に、子どもの居場所づくりを進めます。

瀬崎コミュニティセンターで、「こども食堂」を毎月第3月曜日に実施します。そこでは、暖かい食事を提供するだけでなく、学習支援を行い、遊びを提供しながら、子どもの育ちを見守っていきます。

地域の新1年生にランチョンマットをプレゼントしています。

●応援基金活用：消耗品費、図書・資料購入費、備品購入費、会場費 等

こども応援団マイカ



うごか
そう部門

谷塚駅周辺活性化協議会

応援基金を3年にわたり活用し、谷塚駅周辺の「安心・安全・キレイな街づくり」を進めています。

町会、商店、企業、若者等と、組織を超えた協力体制をつくり、谷塚駅東口駅ロータリー等にイルミネーションを設置、瀬崎防犯パトロール隊に協力、駅前コンサート及び野菜販売会の実施。これからも、谷塚地域の活性化に取り組んでいきます。

●応援基金活用：消耗品費、賃借料、謝礼費、印刷製本費、保険料 等

